

## 1 玄関

- 玄関ドアには、自動的に閉じるように、ドア・クローザーという器具をつけたものがありますので、子供が指をはさまないように注意してください。
- 中・高層住宅では、特に風の強いときドアが風圧で急にしまることがありますので注意してください。
- ドアを開けたままにしておきますと、ドア・クローザーの故障の原因になりますので、ドアの下に木切れなどをはさまないようにしてください。(ドア・クローザーが故障しますと火災の際に避難経路が遮断される恐れがあります。)
- ドアのカギはすべてお渡ししていますので、紛失しないように気をつけてください。
- 玄関土間は防水していませんので、打ち水などをしないようにしてください。

## 2 ベランダ

- ベランダには、落下の恐れのある植木鉢など危険な物を置かないようにしてください。特にベランダは緊急時の避難通路になりますので、となりとの境にある間仕切板や上下階への避難口に物を置かないように心がけてください。また、BSアンテナについても同様ですので注意してください。
- ベランダに箱などの物を置きますと、子供が踏台にして転落事故のもとになりますので注意してください。
- ベランダの床は完全防水ではありませんので、多量の水は流さないようにしてください。また、排水口はときどき掃除してください。
- 洗濯物を手すりにかけたり、つき出して干したりすることは、団地の美観をそこなうばかりでなく、階下の方にたいへん迷惑をかけますのでお止めください。

たりすることは、団地の美観をそこなうばかりでなく、階下の方にたいへん迷惑をかけますのでお止めください。

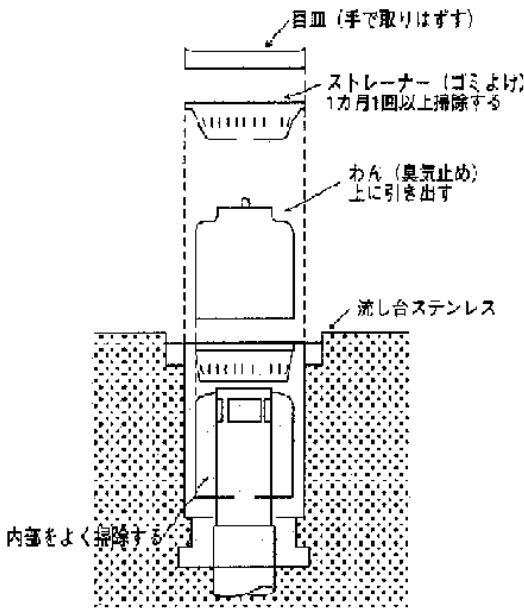
## 3 台所

### ▶ステンレス流し台

掃除の時には金属性のたわしやみがき砂などは傷がつきやすいので使用しないでください。

#### ★ 排水のご注意★

- 流しの目皿のゴミは毎日取り除きましょう。目皿や、わんなどを取り外して使用すると、ゴミが一緒に流れ込んで排水管がつまる原因になります。
- トランプは、共用の排水管からの悪臭がはい上がるのを防ぐために設けてあります。使用済みの油類は流しに捨てないでください。排水管にこびりついて、つまる原因になります。



[トランプ概略図]

- 排水管は、長期間放置するとゴミなどが付

着し、つまることになりますので、定期的に清掃するようにしてください。

- 流し台の排水パイプにはビニール管を使用したものがありますので、熱湯を直接流さないようにしてください。

## ▶台所の換気

台所は熱気や煙がこもりやすいものです。換気扇、レンジフードなどを使用するか、または窓の開閉によって換気してください。熱気がこもると結露の原因にもなります。

時々、換気扇、レンジフードなどの清掃を行ってください(21ページ「6結露」参照。)。

## 4 浴室

- 屋内で防水されている所は浴室だけですから、浴室以外(洗面所など)では水をこぼさないように特に注意してください。また、防水パン使用の浴室は、床と壁のスキ間にコーリング材を充てんし、防水をしていますが、デリケートなものですので、ていねいにお使いただくとともに、点検を怠らないようにしてください。
- 洗濯機の排水を浴室内へ排水する場合は、洗面所などに水をこぼさないよう特に注意してください。
- 排水目皿がつまると水があふれ、階下へ漏水することになりますので、日頃からよく掃除をしてください。不注意による漏水で被害を与えた場合は、損害賠償の義務が生じます。
- 浴室は湿気の発生場所ですので、換気が不十分ですと、壁や天井についた水滴からカビが発生したり浴室戸が腐食します。使用する時はもちろんですが、使用しないときも換気には十分気をつけてください。

## 5 便 所

### ▶水洗便所使用のとき

水に溶けにくい紙などを使用しますと、汚水管をつまらせる原因や汚水処理施設の機能の障害になりますので、必ず専用紙をお使いください。

〈排水管のつまり〉

便器に不溶物を流すと、その住宅の便所には影響がなくても、他の住宅の便所へ汚物が逆流することがあります。大変迷惑をかけるので絶対にしないでください。

### ▶ロータンクとフラッシュバルブ

#### ●ロータンク方式

タンクに水をためておき、レバーを操作して放水します。浮きゴムにゴミがつかえると水が止まらなくなりますので、この場合は止水栓をとめてフタを開け、ゴミなどを除去するなどしてください。なお、水が止まらない場合は、レバーワーク位置を確認してください。それでも止まらない場合は、止水栓を閉じて連絡員を通じて指定管理者の事務所へ連絡してください。

